

公益財団法人新潟県スポーツ協会
令和4年度 定時評議員会議事録
(妙本)

- 1 開催日時 令和4年6月23日(木) 午後1時11分
- 2 開催場所 デンカビッグスワンスタジアム 会議室5
- 3 評議員現在数及び定足数 評議員現在数18名、定足数10名

4 出席者

(1)出席評議員(13名)

岩村良一、久我正作、坂上昭、佐藤真、柴嶺哲、嶋田愛、妹尾浩志、
田中栄二、西原康行、馬場幸夫、原野司、吉原正幸、若杉爾

(2)出席理事(3名)

馬場潤一郎、細貝和司、今西博一

(3)出席監事(2名)

遠藤聡一、鈴木厚

5 議事

(1)報告事項

- ア 令和4年度第1回理事会の開催結果について
- イ 第77回国民体育大会冬季大会の成績結果について
- ウ 令和4年度オリンピックアスリート活動支援対象選手について
- エ 令和4年度新潟県社会人スポーツ推進協議会事業について

(2)審議事項

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度収支結佐について
- 第3号議案 次期理事及び監事の選任について

6 会議の概要

(1)議長選出、定足数の確認並びに議事録記名押印者の選出

定款第14条第2項により出席評議員の互選の結果、佐藤真評議員が議長に選出され、これに就任した。事務局から出席評議員の人数の報告を受け、定款第18条に定める定数を満たしていることから、議長が会議成立を宣言した。また、定款第19条第2項の議事録記名押印人の選任について議長が嶋田愛評議員と若杉爾評議員を指名し、議事に入った。

(2) 議事

ア 報告事項

資料に基づき、事務局が報告事項のアからエについて報告したが、いずれも質問等はなかった。

イ 審議事項

○第1号議案及び第2号議案

議長が、第1号議案と第2号議案は相互に関連があるため、一括審議の可否について諮り、了承された。その後、資料に基づき事務局が次のとおり説明した。

【第1号議案】

令和3年度は、当初から新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、競技力向上関連事業やスポーツ少年団事業は大幅に縮小せざるを得ず、スポーツ医科学センターにおいても利用制限が必要となるなど、厳しい状況となった。また、「スポーツガバナンスコード」に対応するため、関係諸規程の改正を行うとともに、コードの遵守状況について令和3年10月末に公表した。

A公益事業については、国体や強化育成関連事業で、できるだけ活用いただけるよう期間延長等の措置を講じたが、結果的に決算額が予算額を大きく下回った。

国民体育大会関連事業・業務の推進では、第76回国民体育大会本大会が感染症の影響により開催されず、男女総合成績及び女子総合成績は順位が付けられていない。なお、第77回国民体育大会冬季大会は、予定通り開催されており、現時点での男女総合成績は8位、女子総合成績は9位となっている。

新潟スポーツムーブメントの推進では、スポーツ功労者等を表彰し、北京オリンピックでメダルを獲得した平野歩夢選手、富田せな選手、ワールドカップで優秀な成績を収めた富田るき選手、中井飛馬選手にスポーツ栄光賞を授与している。また、新型コロナウイルス感染症関連事業では、日本スポーツ協会からの委託事業として、地域スポーツ推進団体連絡会議等を開催したほか、部活動の段階的な地域移行を共通テーマとした「スポーツ推進のための地域ミーティング」を4会場で開催、スポーツ関係者以外にも多数の参加があり、行政・スポーツ団体等の連携促進の一助になったと考えている。さらに、子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業では、有識者によるプロジェクト会議開催のほか、関係団体と連携して親子運動遊び教室など18事業を県内各地で実施し、約600名の参加があった。この成果を本年度自主事業として実施する「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」へ

とつなげていきたい。

広域スポーツセンターの運営等では、総合型地域スポーツクラブの質的向上と連携促進を図るため、研修会を開催するとともに、コロナ感染症対応として総合型クラブが広域連携により実施する健康づくりイベントの開催を補助したほか、中小企業診断士等の指導・助言により、4クラブの経営改善を支援した。また、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくりを推進するため、3団体と連携して3年継続の最終年次の事業を実施したほか、幼児期からの運動習慣アップのため、県の委託を受け、モデル研修会や普及啓発セミナーを開催するとともに、地域専門人材養成研修事業を実施した。

スポーツ少年団の育成については、日本スポーツ少年団などとの連携により毎年度様々な事業を実施してきているが、令和3年度はコロナ禍によって、全国や北信越ブロック事業の大半は中止となった。そうした中で、スポーツ少年団を取り巻く諸課題を検討し、経営改善を図るため、外部有識者を含めた経営検討会議を設け、同会議からの提案を総会で採択し、現在、専門部等で検討している。登録状況は、減少傾向に加え、コロナ禍による事業中止の影響もあり、令和2年度は大幅に登録数が落ち込んだが、3年度の団員数は増加に転ずることができた。

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営については、競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行っており、感染症の影響により夜間営業など一部の事業が中止となったが、体力測定等の事業を実施し、合計で1,521名の利用があったほか、診療所の運営で体力測定・健康づくり医学検査、整形外科やリハビリ外来診療などで計3,595名の実績があった。また、健康づくり実践指導では、各種プログラムを実施したほか、運動指導者を対象とした研修会等を開催し、2,005名の利用があった。

B収益事業では、民間企業などへの研修室の貸出を行った。

C法人事業では、新潟県広域スポーツセンターをはじめ6つの団体の事務局を担ったほか、理事会、評議員会等を開催したが、新年会は感染症の影響により中止となった。

【第2号議案】

事業報告書で説明したとおり、感染症の影響による事業の中止などが決算額に大きく影響しているが、資金収支ベースの収支計算に基づき、予算差異が大きな科目について、主な理由を中心に説明する。

事業活動収支の部、事業活動収入では、補助金収入3,789,265円、予算差異1,337,735円は医科学センターの体力測定利用者の減による医科学サポート補助金などの減によるもの。受託金収入のうち県受託金収入356,152,550円、予算差異39,380,450円は、感染症の影響により新潟ジュ

ニア育成事業、国体強化事業などの一部中止による事業費の減によるもの。日本スポーツ協会受託金収入 9,425,742 円、予算差異△7,446,742 円は感染症に関連した 2 つの事業費の増によるもの。雑収入 3,677,513 円、予算差異 2,932,487 円は感染症の影響により中止となった新年会の会費などの減によるもの。利用料金収入 17,922,015 円、予算差異 10,278,985 円は感染症の影響により事業を中止したことによる医科学センターの利用料金の減によるもの。以上、事業活動収入の合計は、436,837,289 円となった。

事業活動支出では、主な事業の増減理由は事業報告及び今ほどの事業活動収入の説明と重複するので省略するが、事業活動支出の合計は 426,327,890 円となった。

次に、投資活動収支の部、投資活動収入では、特定資産取崩収入のうちスポーツ振興基金積立資産取崩収入 59,994,850 円、予算差異 △59,994,850 円は、新潟県公募公債の満期償還に伴う組み換えによるもので、投資活動収入の合計は、60,025,709 円となった。

投資活動支出では、特定資産取得支出のうち退職給付引当資産取得支出 6,844,436 円、予算差異△1,367,436 円は、退職積立金の増によるもの。寄付受入資産取得支出は、事業活動収入で収入した寄付金を、医科学センターへの指定寄付金となっているために特定資産に振替したことによるもの。

以上、投資活動の支出の合計は、68,058,186 円となった。

次に、正味財産増減計算書について、経常収益の額は 436,173,712 円で、経常費用の額は 433,544,575 円となり、当期経常増減額は 2,629,137 円となった。法人税・住民税及び事業税の 70,000 円を引いた税引き後当期一般正味財産増減額は 2,559,137 円となり、正味財産期末残高は 597,426,862 円となった。

次に、貸借対照表について、流動資産の合計は 97,164,757 円、固定資産は、基本財産 26,900,000 円、特定資産の退職給付引当資産は新たに積んだ 6,844,436 円を加え 64,572,908 円となった。寄付受入資産は新たに 969,141 円を加え 5,850,182 円となり、特定資産の合計は 610,935,830 円、資産合計は 735,332,388 円となった。

負債の部は、流動負債合計が 73,332,618 円、退職給付引当金を加えた負債の合計は 137,905,526 円となった。

正味財産の合計 597,426,862 円に負債を加えた財産合計額は、735,332,388 円となった。

次に、財務諸表に対する注記については、満期保有目的有価証券のうち、円建外債に評価損益が出ているが、売却の予定はなく、また、評価損などへの対策としてリスク対策積立資産 63,438,590 円を確保している。

【監査報告】

遠藤聡一監事が、去る5月31日に大橋直樹監事、鈴木厚監事とともに監査を実施し、関係諸帳簿及び証拠書類を精査した結果、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿と一致しており、適正であった旨を報告した。

以上の説明及び監査報告後、評議員から以下の発言があった後、事務局から説明があり了承された。

発言：3点の要望がある。1点目は、資料15ページの日本スポーツ協会委託事業については、年度途中に追加した事業ということがわかるよう「追加」と表示するなど、次回からお願いしたい。2点目は、資料26ページの表中に利用者数の前年度比較があるが、それだけではなくコロナ禍以前との比較があると実態が分かりやすいので、そのような工夫をお願いしたい。3点目は、資料40ページの満期保有目的の債券について、格付に問題はないはずで、安心のためそれを表示することもお願いしたい。

説明：いずれも有意義なご意見をいただいた。1点目については、当初計画段階で予告的な記載はしていたが、今後は書き方を工夫したい。2点目もそのとおりであり、3点目もおっしゃるとおりなので、適切に対応していきたい。

この後、第1号議案、第2号議案について議長が諮った結果、評議員13名の挙手により賛成を得て、原案のとおり承認することが決議された。

○第3号議案

議長が出席の理事及び監事の退室を促した後、資料に基づき、事務局が役員等候補者選出委員会の推薦による理事候補者25名及び監事候補者3名について説明し、質問等はなかった。引き続き議長が、定款第18条に基づき候補者ごとに決議することを説明した上で、候補者ごとに諮った結果、いずれも満場一致で選任することが決議された。

[選任された理事・監事]

理事 25名

間 健太郎 (あいだ けんたろう)	加盟学校体育団体関係者
阿部 修 (あべ おさむ)	加盟学校体育団体関係者
阿部 潤 (あべ じゅん)	加盟学校体育団体関係者
市村 輝男 (いちむら てるお)	加盟市町村スポーツ団体関係者
今西 博一 (いまにし ひろかず)	学識経験者
太田 玉紀 (おおた たまき)	学識経験者
荻荘 誠 (おぎしょう まこと)	加盟市町村スポーツ団体関係者

尾身 孝昭 (おみ たかあき)	学識経験者
木浦 正幸 (このうら まさあき)	加盟市町村スポーツ団体関係者
権瓶 修也 (ごんぺい しゅうや)	加盟競技団体関係者
坂田 史安 (さかた ふみやす)	加盟競技団体関係者
佐藤 文男 (さとう ふみお)	加盟競技団体関係者
関根 正明 (せきね まさあき)	加盟競技団体関係者
高橋 正司 (たかはし しょうじ)	学識経験者
滝沢 一博 (たきざわ かずひろ)	加盟競技団体関係者
田海 哲也 (とうみ てつや)	加盟競技団体関係者
花角 英世 (はなずみ ひでよ)	学識経験者
細貝 和司 (ほそかい かずし)	学識経験者
本多 正則 (ほんだ まさのり)	加盟市町村スポーツ団体関係者
本間 達郎 (ほんま たつろう)	企業スポーツ関係者
山田 学 (やまだ まなぶ)	加盟競技団体関係者
和歌浦 京子 (わかうら きょうこ)	学識経験者
渡部 和哉 (わたなべ かずや)	学識経験者
渡邊 滋 (わたなべ しげる)	加盟競技団体関係者
渡邊 優子 (わたなべ ゆうこ)	学識経験者

監事 3名

遠藤 聡一 (えんどう そういち)	加盟競技団体関係者
鈴木 厚 (すずき あつし)	学識経験者
近田 孝之 (ちかだ たかゆき)	学識経験者

(3) その他

議長が、その他の発言等の有無を尋ねたところ、評議員から次の発言と、それに対する事務局からの説明があった。

発言：昨日、コロナ感染症対策に係る部活動実施上の留意事項に関して、県保健体育課長通知が出たが、県外在住の指導者を招いての活動などの制限について記載があり、それらの実施について校長が慎重に判断することとなっている。こういう書き方だと、校長の立場では、実施には慎重にならざるを得ない。そうではなく、チェックリスト形式で全部「○」がつけば、それをエビデンスに実施してもいいという判断材料となるようなものであって、もしもの場合でも免責されるようなものであったらいいと思う。

説明：貴重なご意見をいただいた。県教育委員会としては、生徒の安全安心を第一に考え、そして県対策本部会議での決定を経て出された通知と理解している。これからは、少しずつウィズコロナとして、これまで以上に活動できる方向に進んでいくと思うので、是非とも御理解を頂ければと思う。

議長が、その他の発言の有無を尋ねたところ、事務局から、7月25日開催のゴルフ大会の案内があった。

その後、議事を終了する旨宣言し、議長を退任した。

7 閉会 午後2時50分

以上、この議事録が正確であることを証するため議長及び議事録記名押印人は記名押印する。

令和4年6月23日

議長 佐藤 真

記名押印人 嶋田 愛

記名押印人 若杉 爾